

## 資料

## 日本統治時代を知る韓国老人からの手紙

当研究会の西岡会長宛に、韓国にお住いの方より以下の手紙が届いた。この方は日本統治時代の韓国を知る生き証人であり、朝鮮人の強制連行も慰安婦の性奴隷説も出鱈目であると断言している。以下、ご本人の了解を得て、名前を黒塗りした上で文面のまま掲載するが、編集部の方で多少、日本語の表現を手直した箇所がある。

西岡力教授様

未知の者から突然このような書信が届きまして、さぞやお驚きになったことと存じます。私は韓国の一地方都市に住む91才の老人でございます。最近「李承晩 TV」で李榮薫教授と対談なさる先生のお姿に接して一言申し上げたく存じ、ついこのお手紙を差し上げます。先生の韓国語に敬服致しました。

昔、私の地元に従軍慰安婦経験者が一人ございました。戦時に南方のパラオ島まで出かけたので、あだ名を「パラオ」と呼びました。水商売でほそぼそと暮らしていました。子供が二人いましたが、姓が各々異なりました。私らはときどきそのお店に足を運んで、時間つぶしをしました。彼女の過去は絶対話題に載せない不文律がありました。30をそこそこ越えた彼女には、冒し難い何者かが宿っている感じでした。人生の喜びと悲しみの全てと縁を切った、無感動の世界でありました。今になって顧ると、彼女こそまことの慰安婦経験者の姿であったと思われます。

1965年、韓日基本条約反対の示威が荒れ狂う時、40代の脂ぎった彼女らは何処かで昼寝でもしていたのでしょうか？ 示威指導部の者は、この精鋭兵力を何故出動させなかったのでしょうか？ その時彼女らが表に出ていたなら、「従軍慰安婦」問題はきれいさっぱり後始末がされたと思ひます。

1990年代、一団の日本人がソウルの鍾路5街にある齊洞国民学校を訪ねて、日帝時代の学籍簿の閲覧を求めました。学校側が易々とこれに応じたのを見れば、前もって根回しをしていたことでしょう。一人の女子卒業生の5年生の時の記録に、赤字で「挺身隊」と書かれていました。これを書き取って東亞日報社に駆けつけました。翌日この新聞の社説に、「12才の少女 日本兵の性奴隷に」と載りました。これが従軍慰安婦問題の始まりでございます。

戦争末期、国民学校5年生以上の中学生全員が勞力奉仕に動員されました。その際、男子は奉仕隊、女子は挺身隊と名付けられました。この「挺身」があたかも「身を捧げる」みたいな感じがしまして、「慰安婦」を連想させます。これを奇禍にして、かくの如く捏造をするのです。いやしくも物書きを生業とする人間が、このように文字を持って遊んでいるとは悲しい限りです。

私は戦前の日本人をさほど恨んだことがありません。物心ついた年頃から一旦植民地の人間だと心を決めていれば、生きて行くのに大して不便は感じませんでした。勉強さ

え熱心にすれば、いくらでも出世すると思えました。中学校に進んでは、旺文社の『受験旬報』（後に『螢雪時代』）に掲げている一高、高師、高商などの文字を見るだけでも胸を踊らせました。夏目漱石など、綺羅星の如き文豪の咳払いがきこえるみたいな少年時代でございました。苛酷な戦時の真っ只中に居たにもかかわらず、青雲の夢を見ていました。

1938年（昭和13年）、尋常小学校に入学しました。翌年が紀元2600年であり、西園寺公望公が亡くなりました。この時、学校でとんでもないことを行いました。生徒一人当たりカードを10枚ずつ配って、友達と対話をする中、朝鮮語を使えばカード一枚を相手に取られる、全部取られたら処罰を受けるという非常識な教育？でした。その結果、生徒の間に対話が途切れました。1ヶ月も経たずに、廃止されました。これは總督府の方針だとは思えず、末端の視学（今の教育長）の血迷った行動だと推測しますが、私の植民地経験の中で唯一嫌な記憶であります。

1941年12月8日、「天佑を保有し万世一系の皇祚を踏める大日本帝國天皇は昭かに忠誠勇武なる汝有衆に示す。朕茲に米国及び英国に対して戦いを宣す。朕が陸海將兵は全力を振って交戦に従事し」…と玉音が流れたとき、私は子供心ながら暗い思いでした。私は野村と来栖兩大使が頑張っていて、戦争を防いでくれるよう切に願いました。私は「神國日本」を固く信じましたが、戦場があまりにも広がるのが不安でありました。しかし、緒戦においてシンガポール陥落、プリンス・オブ・ウェールズ轟沈、マニラ陥落、昼は旗行列、夜は提灯行列と、めまぐるしい時間の流れの中で、私は模範的軍國少年に成長していきましました。

1943年、国民学校5年生の時から月一度、「廃品回収の日」が定められました。4年生以上が午後から街に出かけて、廃品を拾います。しかし社会全体に物資が不足しているので、廃品すらもたやすく見当たりません。赤く錆びた釘一本、割れたガラス一片でも見つければ大成功でした。その時の既視感が残っていて、今も街で空き缶を見れば心が引かれます。続いて「松脂取り」が始まりました。松の枝を切った後の、切り口に溜った脂を取るのです。支那下駄を履いて山を駆け回りながら、歯の抜けた鋸でせっせと働いたものの、私はこれの不成績で中学進学に失敗しました。その脂から「松炭油」なるものを生産すると言われましたが、果たしてそれが実用されたかは分かりません。

1年浪人は、私の生涯において少なからず負の資産になりました。1945年4月中学生になりましたが学業は中止、勞力奉仕に出ました。大邱飛行場の塹壕掘りから始まり、滑走路建設を経て彈藥庫掘りの途中、戦争が終わりました。苦労はしましたが、内地（日本本土）のように爆撃をされず、身の安全と家庭の平和を保つことができましたのでほっとしました。

私が恨むのは、戦後の日本の左翼でございませう。1960年代の朝總連系10万の祖国帰りの、左翼が北朝鮮を天國だと嘘をついたからです。その中には日本人妻も大勢おりました。光復から今日に至るまで、南と北は食うか食われるかの戦いを繰り返しています。日本の左翼は、始終一貫して北の肩を持ってまいりました。左翼の御三家、朝日新聞・社会党・岩波文庫の卑劣極まる言動は、私の先入観にある日本人とはあまりにもかけはなれています。岩波の月刊誌『世界』に連載された「韓国からの通信」の、陰惨かつ悪意に満ちた言葉の戯れは、日本言論史に深く刻まれて、反面教師の範として永く伝えられる

べきだと思います。

所謂「強制連行」は、言葉からして間違っています。連行には既に強制が含まれています。いかにも無教養な輩の言葉の使い方です。強制とは暴力を前提にした行いですが、お金を払えばいつでも買える品物なのに、財布にお金があるにもかかわらず、暴力を振って品物を奪おうとする馬鹿が何処にありますか？ 人類の歴史が始まって以来、最初に現れた商売が売春でありました。新約聖書の初めに、イエスの先祖が売春婦だと書かれています。古今東西戦争では、軍人による民間女性への〇〇が必ず起こりました。日本の軍はこれを減らすと同時に、性病伝染を防ぐ為、民間人の売春業に軍が関与したのだと私は思います。これによって女性の人権擁護に寄与したのも勿論です。

「日帝による搾取」、この歌い文句が所謂SKY出のエリートの口から広まりました。ご承知かも知りませんが、SKYとは名門大学のソウル大、高麗大、延世大のことです。日本の左翼にも東大出がたくさんいますように、韓国も同じです。これを「江南左派」と呼びます。さて、SKYが名門にのしあがった原因はただ一つ、これらの前身が日帝時の京城帝大、普成専門、延禧専門であって、その歴史と伝統を受け継いだからです。すなわち、彼らは根っからの親日派であります。何を搾取されるというんですか？ されるものが一つも無いのに。嘘と偽善の塊が至るところに転がっています。伊藤博文公は韓日合邦に反対でした。日本の経済界もしかり。山県有朋公が国防のため、やむを得ず合邦しましたね。

合邦から光復まで、一年も欠かさずに毎年日本政府から朝鮮總督府に莫大な財政援助がなされました。台湾は植民地に成るや否や、経済的に独立しました。朝鮮の王公族には、日本の皇族をはるかに越える年金が支給されました。李禍公が広島原爆で亡くなった時、副官の吉成中佐が自決しました。その亡骸を米国の潜水艦の目を盗んで京城に運び、既に敗戦降伏が決まっている最中、阿部總督以下軍官民の要人が集まって陸軍葬を行いました。東京から皇族の方も臨席しました。私はこの史実を知って、「日本は怖い」と思いました。

先生、コロナの最中お体にお気をつけてください。

2022.8.28

吳■■■ 拜